

7月の果実の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5か年平均	前年実績	前年比見込(%)	5か年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
すいか類		13,933	100	14,073	147	120	173	1,998	14.3	千葉、山形、長野、新潟、鳥取産が中心の入荷となる。千葉、鳥取は生育順調で、7月上旬がピークで下旬にはほぼ終了の見込み。6月中旬までの乾燥の影響で、やや小玉傾向。下旬には、山形、長野がピークを迎える。全体の入荷量は前年並み、価格は前年を大幅に上回るが平年並みとなる見込み。
もも		6,145	95	6,482	470	111	466	1	0.0	山梨産中心の入荷で、全体の約9割を占める。山梨は前年より大幅に早い開花となり、6月中旬から早生品種が入荷開始した。主力品種の白鳳は7月上旬から入荷開始となる。少雨の影響で小玉傾向である。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。
メロン類		5,140	95	4,737	320	110	357	1,072	20.9	茨城、千葉、山形産が中心となり全体の8割を占める。品種はアールス、貴味、アンデス、クインシーなど。茨城は7月第1週でほぼ終了。7月の緑肉は千葉の貴味と山形のアンデスが中心となる。千葉の入荷ピークは7月初め～15日頃となる。山形産アンデスのハウス栽培は5日頃からピークとなる。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回るものの平年並みとなる見込み。
おうとう		376	130	658	1,700	73	1,360	306	81.2	山形産が全体の約7割を占める。山形の佐藤錦は6月末に出荷ピークとなり、紅秀峰は7月上旬から入荷開始となる。秋田は生育が3～4日遅れており、入荷開始は6月末からで、7月上旬頃からピークとなる。全体の入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。
すもも		1,172	95	1,190	464	110	448	151	12.9	山梨、山形産が全体の8割を占める。山梨の露地の大石早生は前年より4日早い6月12日から入荷が始まり、6月下旬がピーク。山形の大石早生は7月10日頃からの入荷を予定している。全体の入荷量は前年をやや下回るが平年並みであり、価格は前年をかなり上回る見込み。
ぶどう (デラウエア)		771	97	937	790	113	759	402	52.1	山形、山梨産中心の入荷となる。山梨の無加温栽培は7月上旬頃に入荷のピークとなる。山形産のハウス栽培は平年並みの下旬にピークとなる。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。